

〔特集〕音楽の力を活かす

民衆の歌をうたいつづける 正真正銘のフォークグループ

—地方から社会的メッセージソングを発信する「影法師」—

影法師は山形県長井市を拠点をおくフォークグループである。結成以来、数多くの社会的メッセージソングを生みだしてきた。民衆の暮らしや農業、自然環境、政治の問題などをテーマにし、月に3~4回の演奏活動を県内外でつづけている。地域という現場、農業の現場、生活の現場から歌をつむぎだし、時代と社会にもものを言いながらうたいつづけている。

♪ 100曲超の大半はメッセージソング

影法師は4人組である。ふだんは農業などを行っている。その忙しい合間をぬって歌をつくり、全国各地で演奏活動をつづけている。「農村バンド」とよばれることもある。

影法師の結成は1975年だ。今年2月24日は結成45周年記念コンサート「影法師 in 東京」をひらく。会場は江東区の亀戸文化センター・カメラホールである。

影法師が制作した100曲超の楽曲は大半がメッセージソングだ。1981年は『今日もあの娘は長井線』をうたった。国鉄長井線（現フラワー長井線）存続運動のテーマソングである。この歌は大きな話題をよんだ。テレビ、新聞、ラジオなどがおしよせた。あれよあれよという間に、影法師の名は県内はもとより全国に知れわたる。それから数カ月、影法師は多忙をきわめた。

♪ 大規模林道阻止にも貢献

1988年は『葉山参道』をつくった。葉山は地元長井市の聖なる山である。その山に大規模林道を通す計画がもちあがった。影法師も大規模林道計画に反対の意思をしめすため、この曲をつくった。歌で大規模林道計画を直接批判しては陳腐になる。そこで、千年以上に

およぶ山と里の人々の深いかかわりを描くことで、心の荒廃を浮かびあがらせるようにしたという。『葉山参道』の歌詞は本誌第137号で紹介させていただいた。

影法師は、この曲を大規模林道反対集会などで演奏した。影法師のメンバーは「葉山の自然を守る会」にも加わった。「守る会」は多彩でねばりつよい運動をくりひろげた。その結果、大規模林道計画は1998年12月に中止となった。

♪ プロテストソングへの転換

1991年は『白河以北一山百文』をつくった。「白河以北一山百文」は、明治維新のころ、薩摩・長州中心の官軍が、反官軍となった東北地方を侮蔑した言葉である。白河はみちのく（東北地方）の玄関口だ。官軍は、「白河の関から北の奥羽諸国は山ばかりで、それも一山で百文ぐらいの値うちしかない僻地である」とさげすんだ。東北の人びとにとって、「白河以北一山百文」は反権力を標榜する逆の言葉になっている。

1987年に東北自動車道が開通した。開通によって首都圏のゴミを積んだトラックがドッと押しよせてくる。影法師はそんな腹立ちを長井弁でうたった。「ゴミにまみれて生きてみよ」「原発背負って暮らしてみろよ」と都会人の理不尽さを皮肉る。この歌は大きな反響をよん

影法師ライブiN川越 山形県市長井市



埼玉県川越市でひらかれた影法師のライブ＝2016年3月5日、田原廣美さん撮影

だ。この歌をきっかけに、影法師の歌はプロテストソング(抗議の歌)に変わったという。方針がコロコロ変わる農業政策や、地方軽視などを批判するようになる。

♪ NHK『花は咲く』への返歌として『花は咲けども』を制作

東日本大震災から2年後の2013年、『花は咲けども』を発表した。NHKから流れる復興支援ソング『花は咲く』への違和感からつくったアンサーソング(返歌)である。

『花は咲く』は、「わたしはなつかしいあの街を思い出す」「花は 花は 花は咲く」とうたう。この歌について、影法師は『現場歌手一現場歌手』(ひなた村)でこうのべる。

《影法師の面々は、この歌に強烈な違和感を覚えた。第一に歌詞の意味がわからない。「なつかしいあの街」を思い出している「わたし」は誰なのか。死者なのか。死者が自分の命のあった場所を思い出しているのか。それとも、ふる里が破壊され、大切な人を失って、今は離れた避難所で暮らす被災者なのか。はたまた、被災地の出身者が一時的に帰郷し、自分

が過ごした頃のふる里を思い出しているのか…。それが歌詞からは伝わってこない。ただ、視線が被災した現場にはなく、相当な距離感があることだけは感じ取れた。

生活の手立てを根こそぎ奪われ呻吟^{しんげん}する被災者に向けて、遠く離れたところから「花は咲く、花は咲く」と歌っているように聞こえ、そこには、当時盛んに言われていた「がんばろう!ニッポン」や「絆」などと同じ偽善の匂いが感じ取れた。

ましてや、福島第一原発の事故によってふる里が大量の放射性物質に汚染され、先の見えない避難生活を余儀なくされている福島の人たちにとって、「花は咲く」という言葉は無念の思いを増幅させるだけではないのかと思えた。自宅の庭や公園にいくらきれいな花が咲いても、そこに戻ることは叶わ^{かな}ないのだから。(中略)『花は咲く』という歌はダメです。対抗して『花は咲けども』という歌を作ります。その年の年末、影法師はそちこちでそう宣言しまくった。そうでもしないと、この重い課題に取り組む覚悟ができないと感じたからだった。》

こうして『花は咲けども』が生まれた。「花は咲けども春をよるこぼ人はなし 毒を吐き出す

土の上 うらめし、くやしと 花は散る」とうたう。
この曲は徐々に評判がひろがった。人から人へとうたいつがれた。全国の音楽仲間とうたってもらおうよう依頼した。現在、この曲を歌うアーティストは20組以上いるという。海外在住の音楽家の協力で英語版も生まれた。

2014年5月、YBCラジオスペシャルが『花は咲けども～ある農村フォークグループの40年～』を放送した。山形放送(YBC)が、影法師の40年の歩みをたどりながら『花は咲けども』をうたうまでの葛藤を記録した番組である。この番組は放送界で高く評価された。放送関連の賞を総なめにした。「日本民間放送連盟

賞」ラジオ教養番組部門最優秀賞、「放送人グランプリ」優秀賞、「ギャラクシー賞」ラジオ部門大賞、「放送文化基金賞」ラジオ部門最優秀賞を獲得する。これをきっかけに、いろいろなマスコミがとりあげた。『花は咲けども』の認知度が一気にあがった。

日本テレビ系列の「NNNDドキュメント'15」も、『花は咲けども』をめぐる影法師の思いや演奏活動を全国放送した。2015年11月29日の深夜である。番組は“東北と中央の理不尽な関係”を浮き彫りにした。歌にこめた思いと被災者の反応も伝えた。この曲にも影法師の真骨頂がいかんなく発揮されている。

3・11後を生きる

山形県長井市を拠点に四十年にわたって活動を続けるシニア世代のアマチュアバンドがある。名前は「影法師」。彼らが歌う「花は咲けども」という曲を、耳にした人がいるかもしれない。原発事故の被災地の姿を歌って四年、じわじわと評判が広がり、人から人へと歌い継がれている曲だ。「花は咲けども」は、なげ心に響くのか。歌の故郷を訪ねた。

◆ ◆ ◆
昨年十一月二十五日、クリスマスの長井市は猛吹雪に見舞われた。鉄道が運転を見合わせ、民家の屋根が飛んだと騒がれた日の暮れ、一軒の農家の庭先に続々と車が集まってきた。間もなく始まったのが、毎年恒例の影法師年忘れコンサートだった。

ポールで作曲担当の横沢芳一さん(左)が所有する楽法の道場が会場。リーダー格でバンジョー担当の遠藤孝太郎さん(右)が「おぼんでんす」とのあいさつすると、数十人の観客から拍手が飛んだ。ギター、バンジョー、マンドリン、ベースが軽快なサウンドを奏で、座が温まったころ、「花は咲けども」が始まった。(歌詞別掲)

影法師が生まれたのは一九七五年。フォークソングブームが花盛りの頃だった。人口三万人あまりの農村にも音楽の波がやってくる。地域のサークル活動から始まったバンドは、すぐに人気者になった。

農村バンド「影法師」のメッセージ

じわり広がる「花は咲けども」



花は咲けども
作詞 あおきふみお
作曲 横沢芳一

原子の灰が 降った町にも
変わらぬように 春は訪れ
もぬけの殻の 寂しい町で
それでも草木は 花を咲かせる

※花は咲けども 花は咲けども
春をよころぶ 人はなし
毒を吐き出す 土の上
うらめし、くやしと花は散る

異郷に追われた 人のことなど
知ったことかと 浮かれる東京
己の電気が 招いた悲惨に
痛める胸さえ 持ち合わせぬか

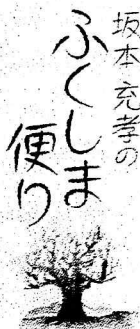
※繰り返し

1年 3年 5年 10年
消えない 毒に 人は戻れず
ふるさとの花 恋焦がれて
異郷で果てる 日を待つのか

※繰り返し

◆ ◆ ◆
東北の今を歌う影法師。左から遠藤さん、船山さん、横沢さん、青木さん、山形県長井市できたのは首都圏のゴミを積んだトラックだった。そんな腹立ちを長井弁で歌った。これを契機に影法師の歌は、地方軽視や朝令暮改の農業政策などを批判するプロテストソングへと変わっていく。

た。作詞、ベース担当の青木文雄さん(右)は「当時は叙情的な歌詞を美しい旋律に乗せて歌っていた。故郷賛歌のような歌だったと苦笑いする。ところが九一年、異色の歌が生まれた。「白河以北」山道が開通したが、押し寄せて



東京新聞福島特別支局
電話 024(535)2327
FAX 024(535)2328

「花は咲けども」などを収めたCDブック「現場歌手影法師」を発売中。購入申し込みは遠藤さん(電0238(84)6445)まで。

(福島特別支局長)

『東京新聞』2018年1月16日

■影法師の歌

花は咲けども

作詞 あおき・ふみお
作曲 横沢芳一

原子の灰が 降った町にも
変わらぬように 春は訪れ
もぬけの殻の 寂しい町で
それでも草木は 花を咲かせる

※花は咲けども 花は咲けども
春をよるこぼし 人はなし
毒を吐き出す 土の上
うらめし、くやしと 花は散る

異郷に追われた 人のことなど
知ったことかと 浮かれる東京
己の電気が 招いた悲慘に
痛める胸さえ 持ち合わせぬか

※繰り返し

1年、3年、5年、10年
消えない毒に 人は戻れず
ふるさとの花 恋焦がれて
異郷で果てる 日を待つのか

※繰り返し

結成45周年記念

影法師 in 東京

◇2019年2月24日(日) 14:00開演
(13:30開場)

◇亀戸文化センター カメリアホール
JR総武線・東武亀戸線「亀戸駅」北口
徒歩2分 カメリアプラザ3F

◇4000円(全席指定)

◇チケットの予約・問い合わせ

- ・亀戸文化センター 03-5626-2121
- ・Ro-Onチケット 047-365-9960
- ・影法師 0238-84-6445(遠藤)
- ・チケットぴあ 0570-02-9999
- ・ローソンチケット 0570-084-003

影法師 ライブ in 川越

◇2019年3月30日(土) 14:00開演
(13:30開場)

◇クラッセ川越6Fホール
埼玉県川越市菅原町23-10
(川越駅東口から徒歩3分)

◇2000円

◇主催:影法師を聴く会

080-9881-6935 田原廣美

歌でメッセージを伝える

田原廣美

2015年11月29日深夜に放送された日本テレビ「NNNDドキュメント'15」を見て、初めて知った。山形県長井市に、農業を営む二人を中心に結成された農村バンドがあることを。そして、その誠実な生き方に心を動かされた。『花は咲く』を復興ソングに仕立て上げた国の偽善性を即座に見抜き、原発被害者の本音に寄り添う『花は咲けども』を作る。『私は米を作るだろう』では、何があろうと米を作る決意を熱く歌う。

影法師のメンバーは言う。「正直、演奏はそんなに上手くない。私たちは歌でメッセージを伝えるのだ」と。たしかに、影法師の歌にはさまざまなメッセージ(思い)が込められている。そのメッセージは、生活の中での思いから国の理不尽さへの抗議まで、広くて深い。

音楽には人の心に直接働きかける力がある。メッセージを曲に乗せることで、その思いはストレートに聴衆に伝わる。その影法師の歌に魅せられ、私は今年の3月30日、連続で4回目となるコンサートを埼玉県川越市で開催する。

農業、自然、政治などをテーマに ユニークな活動を展開

—影法師が結成45周年記念東京コンサート—

フォークグループ「影法師」は2月24日、結成45周年記念東京コンサートを東京都亀戸のカメリアホールでひらいた。影法師は山形県長井市を拠点をおき、農業などを生業としている。「農村バンド」ともよばれる。結成以来、数多くの社会的メッセージソングを生みだしてきた。民衆の暮らしや農業、自然環境、政治の問題などをテーマにし、月に3～4回の演奏活動を県内外でつづけている。地域という現場、農業の現場、生活の現場から歌をつむぎだし、時代と社会にものを言いながらうたいつづけている。

♪「ア〇の永田町」も初披露

影法師は、できたばかりの「ア〇の永田町」も披露した。安倍政治を批判する曲である。「永田の町で流行るもの 詭弁 強弁 はぐらかし 問答無用の強行採決 アーアー永田町 アベの永田町」「嘘つく口は持っていない 意見を聞く耳持っていない 民主主義に唾吐きつけて 猪突猛進 地獄行き」とうたう。拍手喝采を浴びた。

♪商業主義にとりこまれない

影法師は、地元の葉山を守る運動にも貢献した。葉山は、長井市と白鷹町、朝日町の境にある。標高は1237m。「葉山の自然を守る会」の多彩な運動により、葉山を通る予定だった大規模林道計画は中止になった。影法師もこの運動に参加した。『葉山参道』を作詞作曲して大規模林道反対集会で演奏するなど、運動に貢献した。

全国自然保護連合事務局のメンバーは昨年10月、葉山に登ったあと、長井市にある影法師の事務所を訪問した。影法師のメンバー4人からいろいろと話を聞いた。「影法師はなぜ40年以上もぶれずに活動できたのですか」の問いに、影法師の遠藤孝太郎さんはこう話した。

「私たちは農業というしっかりした生活基盤をもっている。JA(農業協同組合)などの大きな組織に入らず、まったくしがらみがない。だから自由に自己主張ができるんです」

影法師は生活基盤をきちんともっているため、商業主義にとりこまることがない。だれにも遠慮せずに社会的メッセージを発信することができる。

♪『花は咲けども』にこめた思い

影法師は東京コンサートで『花は咲けども』もうたった。NHKの復興支援ソング『花は咲く』への違和感からつくったアンサーソング(返歌)だ。NHKの『花は咲く』は、放射能に汚染されて人が住めなくなっても花は咲く、というニュアンスの歌である。「なつかしいあの街を思い出す」とうたう。これにたいし、影法師の『花は咲けども』はこううたう。「花は咲けども春をよこぶ人はなし 毒を吐き出す土の上 うらめし、くやしと 花は散る」。

この曲は徐々に評判がひろがった。人から人へどうたいつがれている。現在、この曲をうたうアーティストは20組以上におよぶ。海外在住の音楽家の協力で英語版も生まれた。

♪地方活性化にも情熱を注ぐ

影法師は演奏活動だけでなく、地方の活性



結成45周年記念東京コンサートで観客を魅了したフォークグループ「影法師」。左から遠藤孝太郎さん、船山正哲さん、横沢芳一さん、青木文雄さん＝2月24日、東京都亀戸のカメリアホール

化にも情熱を注いでいる。地元には伝わる在来作物や、新野菜、地酒などの普及である。この日も、カメリアプラザの2階で物産展をひらいた。山形の伝説の米「さわのはな」、地大根

「花作大根」の漬物、新野菜「行者菜」、純米酒「鄙ひなの影法師」などを、長井市の人たちや長井市東京事務所の職員が販売した。大好評を博し、完売となった。

「あ〇の永田町」

作者 詠み人知らず

永田の町で 流行はやるもの
詭弁 強弁 はぐらかし
問答無用の 強行採決
アベは栄える 議会は廃すたる
アーアー永田町 アベの永田町

ソーリの好むは モリとカケ
すり寄るタヌキに 気を好くし
奥方様と 手を取り合っ
国の税金 そそぎ込む
アーアー永田町 アベの永田町

都の童わらべが 離はやしける
ギゾー ネットゾー アベシゾー
保身大事の 役人あおり
ヤバイ事実は ちよいと隠す
アーアー永田町 アベの永田町

強い男に あこがれて
トランプ プーチンに すり寄るも
向こうにしてみりゃ こりゃいいカモで
身ぐるみ剥がされ 丸はだか
アーアー永田町 アベの永田町

現行憲法 みっともない
戦争できない 国はない
裏口改憲 コンビニ改憲
とにかく憲法に 手をつけたい
アーアー永田町 アベの永田町

嘘つく口は 持ってても
意見を聞く耳 持ってない
民主主義に 唾吐きつけて
猪突猛進ちよどつ 地獄行き
アーアー永田町 アベの永田町
アーアー永田町 アベの永田町